

井尻公民館だより

(令和4年2月1日発行)

<令和4年2月号>

(第215号)

<連絡・問い合わせ先> 館長 窪田 道忠 ()
主事 相澤陸奥実 ()



絵手紙愛好会

関口和代

2月3日は節分、4日は立春です、寒い日が続いておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

ゆったり過ごすはずのお正月も、新型コロナの急激な感染で、あわただしくあっという間に過ぎてしまったような気がします。

2月となると早くも梅の花が咲き始め、寒さの中にも春の足音が聞こえてきます。外に出ますと小さな春に思いがけず出会い心が和む時期でも有ります。

「二月にげ、三月さって、もう四月」、毎年の事ですがなぜか足早にこの時期は通り過ぎます。

そういった慌ただしい月日の中ですが、3月に3ページの内容で恒例のふれあい祭（作品展）を予定しております、開催が決定しましたら、大勢の方々にご参加いただきますようご協力をよろしくお願いいたします。

豆知識

節分について調べてみました、節分とは、立春、立夏、立秋、立冬、などが代表するような季節を表す二十四節季と呼ばれる日本では古くから親しまれてきた季節感があります。春夏秋冬の季節の変わり目は重要な日とされており、季節の変わる最終日を節分と呼びます。実は年に4回節分の日がありますが、**一年の始まりである立春（旧暦のお正月）を迎える前日に**、清め新しい年を迎えようとする儀式として節分の行事となりました。そのため「鬼は外（邪を払う）、福は内（幸せを呼び込む）」と言う厄払いを行うようになりました。

豆まきの由来は中国から伝わった風習、日本で最初に豆まきが行われた記録は天武天皇の頃、慶雲3年（706）年に宮中で始めて行われたとあります。

豆まきの豆は大豆が一般的ですが、現在では地域によって落花生をまく所も結構あるようです。東京より南は大豆をまく地域が多く、北海道、東北、北陸と九州の南では落花生をまくのが主流の様です。落花生の理由は、豆まきの後の回収が簡単で殻にくるまれたままのため、豆まきの後に食する事への衛生面などが主の理由の様だそうです。

12月・1月の活動

フラワーアレンジメント



毎年12月28日に恒例になっている、
フラワーアレンジメント教室です。
皆さんそれぞれの個性的な作品が出来上がりました
新たな年に向けてお部屋に素敵なお花をつくりました。
先生の作品は公民館の和室に。



新年囲碁会

元旦での初打ちです。
囲碁愛好会は、毎週月曜日午後から図書室で活動しております。
どなたでも参加自由ですのでお出かけください。



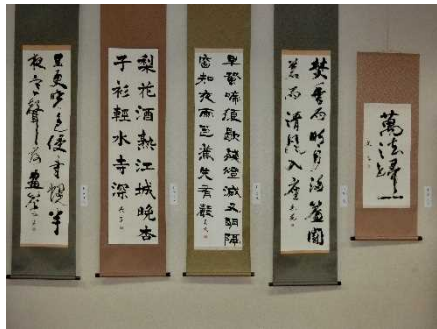
お知らせ

1月の「井尻公民館だより」でお知らせしておりました、ふれあい祭につきましては、**3月12日(土)～13日(日)の2日間**、作品展として開催を予定しています。新型コロナ感染状況は凄いい事となっておりますが(17日現在)、最終の開催か中止かの決定は2月末に配布される、3月の「だより」にてお知らせいたします。

コロナ禍で行動が制約される状況ではありますが、一方で趣味作品を極める時間ではないでしょうか。

皆さんの多く作品を期待したくお願いいたします。

写真は昨年作品展の様です。



(川柳)

人の道少し外せば獣道

コロナ禍で人の噂もマスク中

人里を離れ自立の道を行く

ひなたぼこ二人で飲む茶ことばなく

流石だね人は石垣人は城

人生を咲く雑草に教えられ

人となり天寿全う勝殿まきひろでん

(井尻公民館川柳愛好会) 2021/12/24

(久保 晃)

(三井厚子)

(田辺たみ子)

(古屋典子)

(雨宮江身子)

(中村廣一)

(関口正次)

十二月・一月の川柳に文字に誤りがありました
改訂してお詫び申し上げます。

誤 星影に古城を語る武勇伝

気張りにそつと一言ありがとうございます

(関口正次)

正 星影に古城が語る武勇伝

気配りにそつと一言ありがとうございます

(短歌)

寅年にコロナ感染急増で

行事の延期の連絡きたり

新年の寒さ厳しや老夫婦

炬燵でテレビ正月も過ぎ

(古屋和子)

(久保 晃)

木枯しに葡萄葉散りて風に乗る

カラカラ走るアスファルト道

桃葡萄庁舎の銀杏も散りはてて

枝は残らず天を向きたり

(俳句)

俳句愛好会はお休みさせて頂いております。